



向島藤の木小学校 小中一貫教育校創設検討協議会だより

※「向島藤の木小学校 小中一貫教育校創設検討協議会」が発行

向島藤ノ木地域では、「向島藤の木小学校小中一貫教育校創設検討協議会」を設置し、小中一貫教育校創設に向けて、検討中です。5月には検討協議会だより第1号を発行し、これまでの経緯や検討委員の方々のご紹介などをみなさまにお知らせしているところです。

今回の第2号では、検討協議会が実施した向島秀蓮小中学校見学会、第2回検討協議会等について、みなさまにお伝えします。

向島秀蓮小中学校を見学してきました！

- 5月22日に山内代表をはじめ、「向島藤の木小学校小中一貫教育校創設検討協議会」と「向島小学校小中一貫教育校創設検討協議会」から、合計16名の委員が開校7年目の向島秀蓮小中学校を訪問し、地阪副校長先生・野崎教頭先生からお話を伺い、授業を見学しました。



[向島秀蓮小中学校からのお話の様子]

- 中学生は1年生のときに先輩に大切にしてもらったという思いがあり、自然にやさしいふるまいができたり、面倒見がよくなるようになっている。小学生は中学生に対してあこがれを持つなど相乗効果がみられると教えていただきました。
- 授業見学では1～9年生の子どもたちが落ち着いて学ぶ様子や、挨拶をしてくれる子どもたちも多く、元気な様子を見ることが出来ました。
- 子どもたちだけでなく、多くの先生も含めて多様な人と触れ合う機会は、子どもたちにとって大きなメリットであり、課題はあるものの、全体としてはやはりプラスです、と地阪副校長先生の力強いお言葉に頷かされました。

「向島藤の木小学校 小中一貫教育校創設検討協議会(第2回)」開催

6月9日に第2回目の会議を開催しました。地域の皆様からお寄せいただいたご意見や向島秀蓮小中学校の見学会に係る委員の感想・意見などについて、検討・協議を行いました。



○ 向島秀蓮小中学校見学会について

- ・児童生徒が気さくに挨拶をしてくれてよかったです。
- ・私たちから子どもたちに話しかけると、子どもたちも応えてくれました。
- ・社会に出るといろいろな考え方の人と出会うので、子どもたちが1～9年生まで一つの校舎で学び、様々な人と関わることが大事であると感じました。
- ・多くの教員に子どもたちが見守られていて良いと思いました。
- ・施設一体型の小中一貫教育校の強みをいかした異学年の交流などは興味深く、新鮮な感じを受けました。
- ・古い考えにとらわれずに、これからの中の子どもたちの教育環境を考えていきたいです。

○ その他意見交換

- ・地域の皆様への周知は、回覧や掲示で行い、たよりを所望される方には学校でお渡しする方法がよいと思います。
- ・子どもたちが新しい学校に通うことになった場合、通学安全はしっかり検討していきたいです。

◆今後について

8月下旬に第3回協議会を開催し、さらなるご意見も踏まえ検討したうえで、向島藤ノ木地域として「小中一貫教育校創設の取組を進めるか、進めないか」を決定する予定です。ご理解いただきますよう、お願ひいたします。

「小中一貫教育校創設について」ご意見やご質問などありましたら、向島藤の木小学校までお寄せください。

○向島藤の木小学校 TEL:623-0046／FAX:623-0049／E-mail : fujinoki-s@edu.city.kyoto.jp

○「小中一貫教育校創設検討協議会だより」は

向島藤の木小学校ホームページに掲載中。

また、ご所望の方には向島藤の木小学校においてお渡しします。

